

社会福祉法人 新潟地区手をつなぐ育成会

令和4年度 事業計画

I 法人の理念と経営方針

1 基本理念

障がいのある人と家族・隣人(支援者)が互いに手をつなぎあい、地域の人々と連携して、障がいのある人の「当たり前の人生(幸福追求の営み)の実現」をはかるため、当法人は地域の人々と連携して障がいを持たない人と同様の環境と可能性を追求します。

2 経営方針

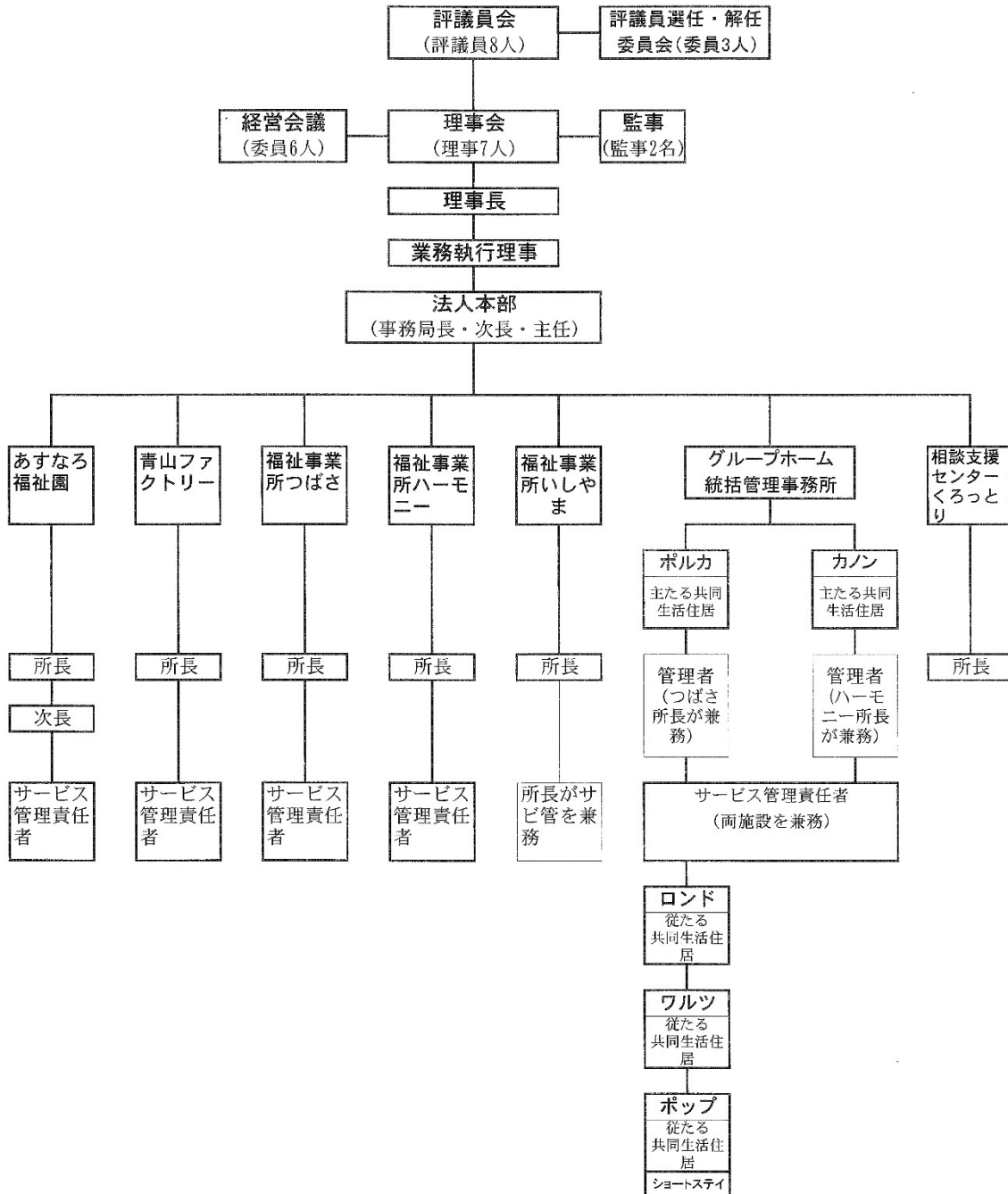
- (1) ご利用者の意向に沿う真心サービスの提供
- (2) ご利用者・ご家族との信頼関係の育成
- (3) ご利用者の自立・自己実現を支える仕事を通じた職員の専門能力の向上
- (4) 共に生きる地域社会作りへの参画

3 行動指針

- (1) 私たちは、ご利用者に信頼され、満足度の高いサービスを提供できるように行動します。
- (2) 私たちは、ご利用者との日々のふれあいを貴重なものとして行動します。
- (3) 私たちは、職員一人ひとりの創造性と組織参画を大切にする風土を作ります。
- (4) 私たちは、ご利用者・ご家族と協力し合いながら、共生の地域社会づくりに参画します。

II 法人組織・施設体系図

「社会福祉法人 新潟地区手をつなぐ育成会組織図」(令和4年4月1日現在)



Ⅲ 本部事業計画

1 基本方針

- (1) 人権擁護
- (2) 高い透明性と適正な組織運営
- (3) 職員としての行動規範を守り信頼される支援の実現

2 実施事業

分類	事業所名	提供サービス	
通所 (5カ所)	あすなろ福祉園	生活介護	就労継続支援B型
	青山ファクトリー	生活介護	就労継続支援B型
	福祉事業所つばさ	生活介護	就労継続支援B型
	福祉事業所ハーモニー	生活介護	就労継続支援B型
	福祉事業所いしやま	生活介護	就労継続支援B型
居住 (2カ所) 短期入所 (1カ所)	ポルカ	短期入所	共同生活援助(介護サービス包括型)
	カノン	共同生活援助 (介護サービス包括型)	
相談 (1カ所)	相談支援センターくろっとり	特定相談支援	

3 本年度の重点事項

- (1) あすなろ福祉園の改築業務の継続遂行
- (2) 安定した財源維持への取り組み
- (3) 人事評価制度促進の検討
- (4) 第三者評価受診実施の検討

4 事業計画

(1) 財務管理

ア 安定した財源保持と適正な執行

定員に空きがある事業所は、ご利用者の受け入れを積極的に行います。
また、加算の取得についても精査し、必要な要件とサービス提供実績等

を検証の上、取得可能と判断されるものについて準備を進めます。

予算の執行状況について毎月適切にチェックし、必要な予算の執行が計画的に行われているか確認します。

イ 計画的な備品の購入と大規模修繕

事業所名	修繕・購入物品	予算額
法人本部	第1次中期計画印刷製本	500,000円
あすなろ	パソコン5台購入	550,000円
つばさ	パソコン3台購入	330,000円
青山	外部物置の新設	300,000円
	シューズボックスの新設	110,000円
	パソコン3台購入	330,000円
ハーモニー	パソコン3台購入	330,000円
いしやま	厨房・衛生機器（電気式消毒保管庫、食器洗浄機、洗濯機）	532,000円
	階段・外物置等修繕（補助金申請）	2,500,000円

ウ 財務監査の実施

法人運営の適正化を図るため、次のとおり監査を実施します。

① 監事の会計監査

二人の監事により、決算処理が適切に行われているかどうかを監査するため、5～6月に本部にて行います。

② 監事の業務監査

二人の監事により、各事業所に出向き業務運営等について監査を行います。

(2) 人事管理・職員養成

ア 人事管理・交流、職員確保の取り組み

より効果的で効率的な人事管理を行うための、人事システム導入を行います。定期的な人事異動による組織の活性化と職員育成、また各担当者会議を実施することにより事業所間の連携を図ります。

必要な人材確保ができるよう、各福祉系大学や専門学校への訪問及び、法人ホームページのリニューアルを通し、当法人の認知度やイメージの向上を図ります。

イ 研修、人権侵害防止、メンタルヘルス

真に法人にとって必要な人材の育成に向け、「人材育成の三本の柱（職員研修・人事管理・組織力の強化）」を基に研修体制の構築を進めます。法人の目指すべき職員像を共有化し、適切な研修及び指導等に努め、人権侵害のない支援に向けて取り組みを強化します。

また、職員のメンタルヘルスチェックを実施し、職員の心の健康維持に努めます。

ウ 人事評価検討

定期的に人事評価を行い、人材育成と能力の活用により組織の活性化とサービスの向上を目指します。

区分	考課対象期間	評価時期	考課の反映
上半期 考課	本年度4月1日～ 9月31日	10・11月	本年度12月賞与
下半期 考課	本年度10月1日～ 3月31日	(翌年度5月)	(翌年度7月賞与)
総合 考課	上半期・下半期の通期	(翌年度5月)	(翌年度6月給与改定)

エ 育成会版「紀要（レポート集）」の作成

職員の支援スキル等の向上を目的に、ワーキングチームを編成し各自が研究テーマを決め、これまでの研修成果や文献資料等により考察を深めてレポートとして取りまとめ、全職員に向けて紀要（レポート集）として発表します。

（3）危機管理

ア 感染症予防

令和3年度に作成した「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画」等に基づき、感染防止の取り組みを継続します。

イ 防災・災害対策

災害発生時等に対応した「業務継続計画(BCP)」を作成し、危機管理体制の強化を図ります。また、当計画に基づいた物品・体制を整えるとともに、必要に応じ改善・修正を行い、緊急時にスムーズに対応できるよう計画的に準備を進めます。

（4）支援事業の適正管理と透明化

ア 個人の権利の尊重と虐待防止、及び苦情対応

令和3年度に策定した「虐待防止規程」に基づき、虐待防止委員会の開催や適切な支援に向けた研修の実施・受講等を着実に進めます。また苦情等が寄せられた場合は、丁寧かつ速やかな対応を心がけ、ご利用者視点に立った支援が実施できるよう努めます。

イ 第三者評価受診の検討

第三者評価受診に向けて、検討を進めます。

(5) 本部業務と施設業務の再編

ア 本部業務・予算の施設との共有と効率化

毎月の所長会議にて経営指標の共有を行い、管理者が法人の現状を正しく把握できるよう努めます。また、本部業務及び施設で行う業務を精査し、業務内容の見直しと効率化を図ります。

イ 将来事業計画検討委員会の発足

法人の将来の発展を図るため、新たな事業展開の方向性について検討し、その成果を取りまとめます。

(6) 地域に開かれた法人作り

ア ご利用者とその関係者、地域、関係団体・機関との協働と連携

ご利用者・ご家族とその関係者との連携を強化し、情報共有により透明性の高いサービスを提供します。また、地域や関係団体・機関と協働し、ご利用者サービスに有益な取り組みができるよう働きかけを進めます。

(7) 評議員会、理事会、経営会議の開催予定

年間予定を作成し、各種会議等がスムーズに開催できるよう努めます。

- ①評議委員会 6月開催
- ②理事会 5月・3月開催
- ③経営会議 5月・3月開催（理事会の2週間前）
- ④臨時理事会 必要な都度

5 法人の状況

(1) 職員の状況（令和4年4月1日現在）

① 雇用形態別（産休・育休等職員含む）

事業所名	雇用形態						計
	役員	嘱託	正職員	再雇用	臨時	パート	
あすなろ福祉園			10		5	12	27
青山ファクトリー			8		2	5	15
福祉事業所つばさ			8		0	9	17
福祉事業所ハーモニー			7		4	8	19
福祉事業所いしやま			2		2	1	5
グループホーム			2		1	15	18
相談支援センターくろっとり			1	1		1	3
法人本部	2	2	1			派遣 1	6
計	2	2	39	1	14	52	110名

(注) 本部事務局パート欄の「派遣」とは「派遣職員」を示しています。

② 役職及び職種別

事業所名	職 種												計										
	所長		次長		サビ管		生活支援員		看護師		職業指導員			目標指導員		世話人		運転員		相談専門員		事務	
	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
あすなろ	1		1	1			18		1	1	1			3									27
青山ファ	1			1			9		1	1	1			1									15
つばさ		1		1			10		1	1	1			2									17
ハーモニー		1		2			9		2	1	2			2									19
いしやま		1			1(1)		2				1	1											6(1)
GH		2(2)		1			4	1(1)					13										21(3)
くろっとり		1															2		1(1)				4(1)
法人本部																						6	6
計	2	6(2)	1	5	1(1)		52	1(1)	5	5	6	13	8	2		1(1)		6					115(5)

(注) 1 表側の事業所名は略称を使用しています。

2 表頭の略称は次のとおりです。

サビ管＝サービス管理責任者、目標指導員＝目標工賃達成指導員、相談専門員＝相談支援専門員

3 いしやまサビ管(1)はいしやまの所長が兼務、グループホーム所長(2)はバックアップ施設の所長が兼務（ポルカ管理者をつばさ所長、カノン管理者をハーモニー所長）、グループホームの生活

支援員(1)はボルカサビ管が兼務、くろっとり相談支援専門員(1)はくろっとりの所長が兼務して
います。

(2) ご利用者の状況

① 利用者数

事業所名	事業名	令和4年度予定 () 内は令和3年度4月1日時点				
		定員 (人)	登録利 用者数 (人)	開所予定 日数 (日)	1日当たり利 用予定者数 (人)	生活・GH:障がい 程度区分平均 就労:重度者数
あすなろ福祉園	生活介護	24	31(32)	239(243)	27.6(27.8)	5.3(5.3)
	就労支援B	16	18(18)	239(243)	17.8(17.8)	12(12)
青山ファクトリー	生活介護	12	19(18)	(242)	19(19)	4.3(4.3)
	就労支援B	28	26(28)	(244)	26(27)	5(5)
福祉事業所つばさ	生活介護	15	18(17)	242(241)	16(15.6)	4.6(4.4)
	就労支援B	23	25(25)	242(241)	24.2(24.2)	4(5)
福祉事業所ハーモニ ー	生活介護	30	35(35)	243(242)	32(32)	3.9(3.8)
	就労支援B	10	12(12)	243(242)	11(11)	3(3)
福祉事業所いしやま	就労支援B	20	17(17)	243(244)	15.7(15.8)	3(3)
GH ポルカ	共同生活	16	12(12)	308(314)	12(12)	3(3.4)
	カノン	4	4(4)	296(297)	4(4)	3.3(3.3)
SS ポップ	短期入所	2				

事業所名	事業名	契約者	区分	年間件数	月平均件数
相談支援センター くろっとり	特定相談	144	サービス等利用計画	144(150)	12(12.5)
		(153)	モニタリング報告書	288(310)	24(26)

(注) 1 就労「重度者数」は、ご利用者のうち障がい年金1級を受給している方の数を指しま
す。

② ご利用者の年齢別在籍状況

(令和4年4月1日見込み、単位：人)

事業所名	性	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢
あすなろ福祉園	男	0	11	14	4	2	0	31	33.7
	女	0	8	8	2	0	0	18	32.7
	計	0	19	22	6	2	0	49	33.2
青山ファクトリー	男	0	5	17	4	2	2	30	36.9
	女	0	5	4	4	2	0	15	37.2
	計	0	10	21	8	4	2	45	37.0
福祉事業所つばさ	男	4	10	8	3	1	1	27	32.0
	女	0	9	5	2	0	0	16	28.9
	計	4	19	13	5	1	1	43	30.2
福祉事業所ハーモニー	男	0	8	19	1	1	0	29	32.6
	女	0	8	6	2	1	1	18	35.3
	計	0	16	25	3	2	1	47	33.6
福祉事業所いしやま	男	0	2	3	5	3	1	14	44.1
	女	0	2	0	0	1	0	3	36.3
	計	0	4	3	5	4	1	17	42.8
ポルカ	男	0	1	2	5	0	0	8	40.6
	女	0	2	1	1	0	0	4	32.8
	計	0	3	3	6	0	0	12	38.0
カノン	男	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	1	3	0	0	0	4	34.0
	計	0	1	3	0	0	0	4	34.0
計	男	4	37	63	22	9	4	139	
	女	0	35	27	11	4	1	69	
	計	4	72	90	33	13	5	217	

③ 苦情・虐待受付窓口

事業所毎に苦情受付担当者及び苦情解決責任者を指名し、苦情解決に努めます。また、第三者委員を指名し、法人の苦情解決の透明性と信頼性を確保します。

	法人本部	あすなろ 福祉園	青山ファ クトリー	福祉事業 所つばさ	福祉事業所 ハーモニー	福祉事業所 いしやま	共同生活 援助 ポルカ	共同生活 援助 カノン	相談支援 センター くろっとり
1 苦情解決・ 虐待防止に関 する責任者	中峯厚子	阿部美德	小出哲之	本間敬子	藤田望菜	熊倉雄介	本間敬子	藤田望菜	二階堂由人
2 苦情受付・虐 待防止担当者	上野幸治	佐藤里枝	下澤大輔	大森真一	歌野剛志	渋木克成	森田久美	森田久美	伊藤拓也
3 第三者 委員	(1) 加藤 哲 宏 (2) 星 芳 夫								

4 事業所別就労作業の目標

就労作業の目標(令和4年度)

(単位：円)

事業所名	就労継続支援B型	
	一年間の売上収入	一人当たり月額平均工賃目標
あすなろ福祉園	2,709,000 (2,500,000)	11,806 (11,574)
青山ファクトリー	4,767,000 (4,540,000)	10,500 (10,000)
福祉事業所つばさ	2,510,000 (2,750,000)	7,333 (6,897)
福祉事業所ハーモニー	3,300,000 (3,150,000)	14,583 (13,889)
福祉事業所いしやま	1,690,000 (1,927,000)	6,000 (5,952)

()内は令和3年度予算及び目標

あすなろ福祉園

令和4年度事業計画

1 事業所概要

(1) 事業所名	あすなろ福祉園	
(2) 所在地	〒950-1123 新潟市西区黒鳥 984	
電話・FAX	025-377-6050	
E-mail	asunaro1123@plum.plala.or.jp	
(3) 施設規模	土地	3,164.70 m ²
	建物	1,305.00 m ² 、鉄筋コンクリート造3階建
(4) 実施事業	生活介護	就労継続支援B型
(5) 定員	24人	16人
(6) 開設	平成19年4月（作業所開設 平成4年4月）	
(7) 職員数	常勤 15人、非常勤 14人、看護職員 1人	

- ・(7)職員数は令和4年4月1日配置見込数

2 事業所の特色及び考え方

- (1) 新潟市西区黒鳥地区にあり、まわりは田んぼや特産である黒埼枝豆畑に囲まれた自然豊かな中に位置しています。それらを生かした作業や活動を取り入れ、地域住民とのつながりを大切にしています。
- (2) 強度行動障がいなど、重度障がいの方の支援が提供できるよう専門的スキルの向上に努めています。

3 令和4年度の重点項目

(1) 事業所全体

- ① 令和6年度新事業所開設に向けて法人本部や地域の皆様、行政関係者と相談しながらより良い事業所作りを進めます。
- ② 新事業所ではグループ内の活動だけではなくニーズや意向に沿った柔軟な日課や選択活動の導入ができるよう準備を進めます。また、個別ブース等を見直しより過ごしやすい環境づくりを行います。
- ③ ご利用者サービスの提供の一つとして地域の特色を生かした農作業や葉野花実づくりに取り組みます。
- ④ パソコンやタブレットを活用した余暇や訓練を実施し、活動の幅を広げていきます。

(2) 生活介護

- ① 「葉野花実」の製造・販売を通し、楽しさを感じながら一人ひとりの役割を持ち、多くのご利用者が携われるようにします。新商品の開発によりバリエーションを増やすとともに、地域の店舗やホームページ、福祉の店パレット等でのPRによる販路拡大を目指します。
また、使用している道具・器具を使いやすく作業効率の良いものに入れ替えるなど作業環境も整えます。
- ② 創作や音楽、スヌーズレン活動を通し、自己表現や癒し、楽しさを感じてもらえる活動を充実させます。スヌーズレンでは、新たなツールを整備します。

(3) 就労継続支援B型

- ① 新しく工賃増及びご利用者のやりがいに繋がるよう、さかき栽培用の用地作業やアパートの管理作業の受注について検討を進めます。
- ② 余暇活動としてウォーキングやダンスなどを取り入れ、リフレッシュ、体力の維持や健康管理の把握に努めます。

4 年間計画

(1) 研修

- ① 職員の資質向上とご利用者支援のレベルアップを図るため、キャリアパス研修や強度行動障がい研修などに参加するとともに、事業所における障がい者サービスの実務に役立つ情報の共有や研修を実施します。
- ② 施設整備に向けた先進事例等の情報収集をし、職員で共有します。
- ③ 定期的な虐待防止やハラスメントの研修を実施し、対策や予防に努めます。
- ④ 少しの空き時間に研修動画を視聴できる等、パート職員等も希望する研修を受けやすくなるような仕組みについて情報収集し、実施可能なものがあれば職員へ情報提供を行います。

(2) 施設・設備・車両

定期的設備・車両のメンテナンスや事業所内外を点検することで予防や対策を講じ、ご利用者が安全・安心にすごせるようにします。

- ① 定期的に施設・設備について点検を行い、修繕が必要と判断された場合は速やかに対応します。
- ② 各種設備・機器の浄化槽(1回/3ヶ月)、エレベーター(月1回)、貯水槽(年1回)、消防設備(2回/年)、AED(月1回)の点検を行います。
- ③ 送迎車両の老朽化が進んでいるため、早急に入替に向けた助成金の申

請を行います。

運行前点検を励行し、車両に異常や不具合が生じたときは、速やかに上司に報告し整備を行います。また、法定点検等を実施します。

- ④ オンライン研修や会議が滞りなく実施できるよう、施設の WI-FI 環境を見直します。また、必要なデータのバックアップを確実に実施し、データの消失を防止します。

(3) 保健計画

定期的な健康診断や予防接種、嘱託医による健康指導相談を実施することでご利用者および職員の健康管理や予防に努めます。

①ご利用者

- ア 医療機関による健康診断やインフルエンザ等の予防接種を実施します。(希望者対象)
- イ 嘱託医による生活介護ご利用者へ健康指導相談をします。(年 2 回)
- ウ 毎日の検温、毎月の血圧測定と体重測定を実施します。

②職員

- ア 年 1 回の定期健康診断やインフルエンザの予防接種(希望者)を実施します。
- イ 職員の心の健康を維持するため、年 1 回のメンタルヘルスチェックを実施します。

③その他

- ア 新型コロナウイルス等の感染症予防に必要な、消毒液やマスク等を備蓄します。

(4) 安全と事故防止

ご利用者及び職員の、安全・安心のために必要な対応を確実に実施します。

- ア 新型コロナウイルス感染症対策(消毒、手洗い、マスク着用など)を徹底します。
- イ 事業所内外の安全点検を行い、必要に応じて改善措置を行います。
- ウ 職員へ交通安全と事故防止に向けた研修をします。
- エ ヒヤリハット・事故をリスクマネジメント委員会で検証し、職員会議で全体周知を図り再発防止に努めます。
- オ 地震・火災・水害に対する避難訓練を行いません。(年 2 回)
また、防災グッズや災害用備蓄を行います。
- カ 事業継続計画(BCP)を職員で共有し、緊急時にスムーズな対応ができるよう努めます。

(5) 保護者会、地域とのかかわり

- ① ご利用者保護者会への所長や職員の陪席や、役員会との情報交換を通し、相互の連携を図ります。
- ② 自治会主催の行事に参加し、事業所のあすなろまつり等を開催するなど、地域住民と交流する機会を設け、引き続き良好な関係づくりに努めます。

(6) その他

① 苦情の解決

ご利用者及び保護者から信頼される事業所となるよう、頂いた苦情については迅速かつ満足していただける対応を心がけます。

	行事・地域	事業所
4月	春のお出かけ 各グループ	浄化槽点検
5月	黒鳥ふれあい運動会 ふれあいウォーク	事業所研修①
6月	日帰り旅行①	健康指導・相談 避難訓練、消防設備点検
7月	日帰り旅行②	法人全体研修① 浄化槽点検
8月		
9月		事業所研修②
10月	あすなろまつり 秋のお出かけ 各グループ	健康診断 浄化槽点検
11月	お楽しみランチ	インフルエンザ予防接種 健康指導・相談 法人全体研修②
12月	事業所合同お楽しみ会	消防設備点検
1月		事業所研修③ 貯水槽点検・浄化槽点検
2月		法人全体研修③
3月		

- 1) 毎月、誕生会や茶話会を実施します。
- 2) エレベーター点検やAED点検は毎月1回実施します。

福祉事業所つばさ

令和4年度事業計画

1 事業所概要

(1) 事業所名	福祉事業所つばさ	
(2) 所在地 電話・FAX E-mail	〒951-8141 新潟市中央区関新1丁目2番34号 025-201-6650 tubasa191001@ybb.ne.jp	
(3) 施設規模 土地 建物	891.69 m ² 1,188.81 m ² 、鉄筋コンクリート造4階建	
(4) 実施事業	生活介護	就労継続支援B型
(5) 定員	15人	23人
(6) 開設	平成19年4月（作業所開設 平成4年4月）	
(7) 職員数	常勤 9人、非常勤 6人、看護職員 1人	

- ・(7)職員数は令和4年4月1日配置見込数

2 事業所の特色及び考え方

- (1) 新潟市中央区に位置し、市内の公共の施設や地域資源を利用しやすい立地にあります。そのため、行き来しやすい中央区の企業や関係団体等のつながりをより強化することにより、受注作業開拓を目指します。
- (2) 生き生きと自立した生活が送れるよう、ご利用者・保護者の意向に沿いながら、生活する力を高める支援を提供します。

3 令和4年度の重点項目

(1) 事業所全体

- ① 移転後3年目を迎え、地域住民の皆様との関係構築と共生社会の実現に向け、つばさとして実施可能な地域貢献につながる活動を検討します。
- ② 職員一人ひとりが、ご利用者へのサービス提供および活動等の取り組みについて理解を深めるよう、研修等を充実させます。また、先々も高い品質のサービスを提供し続けていくことができる組織・システムの在り方を検討・構築するとともに、職員の意識強化を図ります。
- ③ ご利用者の障がい特性の理解を更に深め、個々に応じた支援の見直しを行い、よりご本人に適した支援および環境を提供することに努めます。

- ④ 新型コロナウイルスの感染予防および世の中の状況を踏まえたうえで、ご利用者が安心安全に楽しめるよう創意工夫した行事や活動を提供します。

(2) 生活介護

- ① 障がい特性に応じた室内環境の整備の強化を図るため、ご利用者個々に合わせた個別ブース等の設置を行います。

(3) 就労継続支援B型

- ① 他機関とのつながりを強化し受注作業の開拓を進め、工賃増を目指します。

4 年間計画

(1) 研修

- ① 職員の意識が更に高められるよう、一人ひとりが掲げた目標の振り返りの機会を設けます。
- ② できる限り多くの職員が強度行動障害支援者養成研修を修了できるよう、計画的に受講します。
- ③ 事業所内研修の強化を図ります。年度初めに研修の目的と指針を提示し、見通しをもった研修の進め方を実施します。
- ④ 研修を通し、職員が共通の知識や考えのもとでチーム支援ができるよう努めます。

(2) 施設・設備・車両

定期的な点検の実施、台風等の被害の予防や事後の点検を実施する等、施設の安心安全な管理に努めます。

- ① 送迎車両一台（ヴォクシー）の老朽化とご利用者の重度化に伴い、車いす対応が可能な車両への入れ替えに向けて助成金を申請します。
- ② 支援環境を再検討し、フロア全体での配置と個別支援を同時に考慮した環境整備を行います。
- ③ 必要なメンテナンス・改修を計画的に実施します。

(3) 保健計画

定期的な健康診断やご利用者および職員の健康管理に努めます。

- ① ご利用者
 - ア 健康診断を実施します。ご利用者の健康管理に関する助言と啓発に努め、意識の向上を図ります。

イ 毎朝活動前に検温を実施し、家庭からの申し送りを確認します。また月1回の体重の計測を行い、生活習慣病の予防に努めます。

② 職員

ア 職員の心の健康を維持するため、年に1回メンタルヘルスチェックを行います。

イ 職員とのコミュニケーションを図り、必要に応じて面談の機会を設け、ストレスマネジメントに努めます。

③ 予防

ア 現在の新型コロナウイルス感染予防の対策を継続していきます。

イ 各種予防接種（インフルエンザ等）が受けやすいよう情報を発信します。

(4) 安全

① 日々の交通安全および事故防止に向けた注意喚起や資料を用いた啓発に努めます。

② 設備点検を行います。業者へ委託し、毎月エレベーター点検を行います。

(5) 保護者会、地域

① ご利用者保護者会への職員の陪席を通し、情報共有と相互の連携を図り、事業所運営に生かします。

② 地区コミュニティ協議会主催の地域行事に参加し、地域住民と顔の見える関係づくりに努めます。

③ 旭七ヶ町自治会とワンコインパーティーを共催します。

	行事・地域	事業所
4月	入所式 お花見	
5月		避難訓練（火災） 事業所内研修
6月	お楽しみランチ会	
7月	旭七ヶ町ワンコインパーティー	法人全体研修 防火設備定期点検 電気設備点検
8月		避難訓練（地震・水害）
9月		事業所内研修 電気設備点検
10月	旅行（日帰り）	
11月	お楽しみランチ会	避難訓練（火災） 法人全体研修 電気設備点検
12月	育成会お楽しみ会 つばさクリスマス会	
1月	成人式	事業所内研修 防火設備定期点検 電気設備点検
2月	節分	法人全体研修
3月		

- ・毎月、外部講師による音楽活動や3B体操を実施します。
- ・月1回の職員会議の内容に重点をおき、サービスごとの報告および各職員からの担当業務にかかる情報共有の機会を設けます。
- ・月1回の生活介護会議、就労会議を行います。サービスごとのケース検討や情報共有を図ります。
- ・月1回のパートミーティングの内容を充実させます。
日頃の気づきをパート職員から事前にあげてもらい、職員間で共有し、必要に応じて支援スキル向上のための専門的な分析検討（ミニケーススタディ）を実施します。

青山ファクトリー

令和4年度事業計画

1 事業所概要

(1) 事業所名	青山ファクトリー	
(2) 所在地 電話・FAX E-mail	〒950-2002 新潟市西区青山 1436 番地 149 025-265-2099 a.f.s.2001@etude.ocn.ne.jp	
(3) 施設規模 土地 建物	697 m ² 409.07 m ² 、木造瓦葺平屋建（一部鋼板瓦二階建）	
(4) 実施事業	生活介護	就労継続支援B型
(5) 定員	12人	28人
(6) 開設	平成21年4月（作業所開設 平成14年4月）	
(7) 職員数	常勤 8人、非常勤 4人、看護職員 1人	

- ・(7)職員数は令和4年4月1日配置見込数

2 事業所の特色及び考え方

- (1) 当事業所は、青山海岸近くの閑静な住宅地にあり、地域の公園清掃や海岸清掃を行いながら自治会・地域住民との良好な関係作りを大切にしています。
- (2) ご利用者が、働くことの喜びを感じ、作業を通して社会性を育ていけるよう、農園に出向いての農作業や教育機関の清掃作業、パン・クッキーの製造販売で近隣の高齢者施設や西区役所などへ訪問する等、施設の外に出て行う作業を積極的に取り入れています。

3 令和4年度の重点項目

(1) 事業所全体

- ・ご利用者支援とサービスの向上を図るため、勤続年数や階級、サービスに合わせた研修を多く取り入れ自己研鑽に努めます。
- ・ご利用者が気持ちよく過ごせる環境を整えるため、小スペースの確保や個別ブースを設置します。
- ・開設20周年を記念して、地域交流会を盛大に行います。

(2) 生活介護

- ・個別のニーズに対応できるよう自立課題ツールの充実を図ります。
- ・身体機能維持と体力向上を目指して運動支援を多く取り入れます。

(3) 就労継続支援B型

- ・新しい作業及び販路を開拓して工賃向上を図ります。
- ・ご利用者が地域で安定した生活が継続できるよう、個別対応の充実に努めます。

4 年間計画

(1) 研修

- ①新規作業の開拓や工賃向上へつながるような研修へ、積極的に参加します。
- ②強度行動障害の研修等へ参加し、障がい特性の理解を深めることに努めます。

(2) 施設・設備・車両

定期的な点検の実施や、台風等被害の予防や事後の点検を実施する等、ご利用者及び職員の安心・安全に向けた管理に努めます。

- ①作業室、相談室の壁に傷が数か所あるため修繕します。
- ②作業室出入口ドアの開閉に、支障が生じているため修繕します。
- ③作業室網戸のレールが劣化したため、網戸レールを修繕します。
- ④作業資材の置くスペースを確保するため、物置を購入します。
- ⑤生活介護のシューズボックスをより使いやすいもの（大きいサイズ等）に入れ替えます。
- ⑥新型コロナウイルス感染拡大防止のため、空気清浄機を購入します。
(助成金団体申請予定)
- ⑦公用車のタイヤが劣化したので購入します。
- ⑧送迎車両1台（ハイエース10人乗り）が使用開始から10年以上経過しており、老朽化が進んでいるため、入れ替えに向けて助成金の申請をします。
- ⑨月1回安全業務係を中心に、施設内の点検を実施します。

(3) 保健計画

定期的な健康診断や嘱託医による健康指導等を確実に実施して、ご利用者及び職員の健康管理に努めます。

- ① ご利用者
健康診断や嘱託医の健康指導の実施等により、ご利用者の健康管理や意識の向上を図ります。
- ② 職員
ア 健康診断の実施等により、職員の健康管理をします。
イ 職員の心の健康を維持するため、年2回以上のメンタルヘルスチ

ェックを実施します。

③ 予防

各種予防接種を実施します。(インフルエンザ、新型コロナウイルス)

(4) 安全と事故防止

①月1回職員会議にて、ヒヤリハット事例の検討及び対策の周知を実施します。

②日々の交通安全に向けた注意喚起や、資料を用いた啓発に努めます。

(5) 保護者会、地域

①ご利用者保護者会への職員の陪席を通し、情報共有と相互の連携を図り、事業所運営に生かします。

②地域住民や関係者への日ごろの感謝を伝える場として、地域交流会を開催します。

③地域の公園清掃や海岸のゴミ拾いなどの活動を通して、地域に貢献します。

④職員が地域の防災、避難訓練に参加することで地域住民としての役割や防災意識を高め、地域住民の方と良好な関係を構築します。

	行事・地域	事業所
4月		避難訓練・消防点検
5月	ふれあいウォーク (ライオンズクラブ主催)	事業所研修 職員メンタルヘルスチェック
6月	一泊研修旅行	嘱託医による健康指導 (生活のみ)
7月		法人全体研修
8月		ご利用者健康診断
9月	新潟市障がい者大運動会 20周年記念地域交流会	事業所研修
10月	日帰り旅行	インフルエンザ予防接種 (希望者)
11月	社会参加活動	嘱託医による健康指導 (生活のみ) 法人全体研修 避難訓練・消防設備点検
12月	法人事業所合同お楽しみ会	職員メンタルヘルスチェック
1月		事業所研修
2月		法人全体研修
3月		

福祉事業所ハーモニー

令和4年度事業計画

1 事業所概要

(1) 事業所名	福祉事業所ハーモニー	
(2) 所在地 電話・FAX E-mail	〒950-0823 新潟市東区東中島2丁目18-6 025-277-6477 Harmony_2541@yahoo.co.jp	
(3) 施設規模 土地 建物	892.57 m ² 771.12 m ² 、鉄骨造2階建	
(4) 実施事業	生活介護	就労継続支援B型
(5) 定員	30人	10人
(6) 開設	平成25年4月（作業所開設 平成12年4月）	
(7) 職員数	常勤 10人、非常勤 6人、看護職員 2人	

- ・(7)職員数は令和4年4月1日配置見込数

2 事業所の特色及び考え方

- (1) 就労継続支援B型の作業で製造している食品製品の手作りせんべいの販売を通して、地域の方々への知的障がいの理解を深めています。ハーモニーショップやバザーでの販売など、地域に積極的に発信しています。
- (2) 生活介護の自主製品として制作している卓上カレンダーやオリジナル名刺は、ご利用者の方が描いた絵を使用しています。ユニークで独特のタッチの作品を製品にして販売することで、ご利用者個々の持つ能力を地域へ発信し、新たなアート活動に繋がっています。
- (3) ハーモニーにはアートやダンス、音楽が好きなご利用者が多くいらっしゃいます。そのため、アート活動やミュージックケアの提供に力を入れており、楽しく芸術にあふれる施設づくりに努めています。

3 令和4年度の重点項目

(1) 事業所全体

- ①施設に併設する「ショップハーモニー」へのご利用者の制作したアート作品の展示や、各種団体へのアーティストとしての登録を行う等、「アートのハーモニー」を地域へ発信していきます。
- ②新型コロナウイルス感染症への対策として、業務継続計画に沿って緊急時にスムーズな対応ができるよう準備し、体制を整えます。

(2) 生活介護

- ① 個別スペースやカームダウンスペースを増やし、活動室の環境の充実を図ります。
- ② ご利用者のスキル向上や運動機能の発達を目的として、レクリエーションや音楽活動等の活動をさらに充実させていきます。
- ③ 請負作業の見直しを行い、効率よく作業することで工賃アップに繋がります。

(3) 就労継続支援B型

- ① 手作りせんべいの原材料が高騰しているため、それに合わせて価格や販売方法の見直しを行うことで、ご利用者の工賃確保及び向上を図ります。
- ② 効率よく作業できるように厨房内の設備や備品の確認を行い、新しい機器の導入や入れ替えを行います。

4 年間計画

(1) 研修

- ① 職員一人ひとりが目的意識を高められるよう、年度初めに自己達成の目標を職員各自で設けます。年度終わりに、その目標が達成できたかどうか所長と面談をして確認します。
- ② 職員が自主的に学びたいと思う内容の研修を受けられるように、選択の機会を設けます。
- ③ 生活介護の職員全員が、強度行動障害支援者養成研修を受講できるよう計画的に派遣を進めます。
- ④ ミュージックケアの研修に職員を派遣し、活動が更に充実するように努めます。

(2) 施設・設備・車両

敷地内の施設・設備点検を定期的に行い、台風や大雪の場合に被害が出ないように予防するとともに、ご利用者及び職員の安心・安全に向けた管理を実施します。

- ① 開所から10年目を迎えることを節目として、施設内の点検を重点的に行い、汚れ落としや給排水溝、排水トラップの清掃を専門業者へ依頼し、住み良い施設環境を保ちます。
- ② 施設外に設置されている、非常用予備発電機と高圧受電設備の外壁に錆が認められたため修復します。

(3) 保健計画

定期的な健康診断や口腔健診等を実施し、ご利用者及び職員の健康管理に努めます。

① ご利用者

- ア 医療機関による健康診断を自施設（検診車等）で実施します。
- イ 歯科医と歯科衛生士による口腔健診を実施します。
- ウ 毎日の検温の実施に加え、毎月の健康観察で検温・体重及び血圧測定を行う等、健康状態の把握に努めます。
- エ 新型コロナウイルス感染症対策と予防に努めます。

② 職員

- ア 年1回、定期健康診断を実施し、職員の健康管理に努めます。
- イ 流行期の前にインフルエンザ予防接種を斡旋します。
- ウ 職員の心の健康を維持するため、年2回メンタルヘルスチェックを実施します。チェックの結果、必要に応じて面談を実施し、職員のメンタルヘルスの把握に努めます。
- エ 新型コロナウイルス感染症対策と予防に努めます。

(4) 安全

利用者の安全・安心をより確実にするために、職場研修や訓練を行います。

- ① ひやり・はっと事例を職員間で共有し、事故を未然に防ぐように努めます。ひやり・はっとが報告される都度、職員間で支援上の留意点を周知し、再発防止に努めます。
- ② 年に2回リスクマネジメント委員会を開き、施設内の点検および支援上の留意点を、職員全員で確認します。
- ③ 職員全員に、日々の交通安全及び事故防止に向けた注意喚起を行います。
- ④ 火災・地震・水害等の災害別に備えたマニュアルに従って避難訓練を行い、非常時や災害時に対応できるようにします。
- ⑤ 安全衛生管理に関する留意点に着目し、日々の安全衛生の推進に努めます。

(5) 保護者会、地域

- ① ご利用者保護者会と情報交換を行い、相互の連携を図ります。
- ② ご利用者保護者会に所長や職員が陪席させてもらうことで、保護者の意見を聞き、事業所運営に活かします。
- ③ 「ハーモニーショップ」での商品販売を通じて、地域との交流、地域への発信を図ります。

- ④ シルバーピア石山の除草活動や、公民館バザーへの出店、産直市場等でのせんべいの販売を通して、地域に根付いた事業所づくりに努めます。

(6) その他

- ①事業所行事を年間で計画し、ご利用者が一年を通して季節を感じながら、楽しんで参加できるように更に工夫を凝らします。

	行事・地域	事業所 (研修・設備・保健・安全 等)
4月	春のお花見行事	リスクマネジメント委員会
5月	ふれあいウォーク	避難訓練 (火災対応) 浄化槽点検・清掃 事業所内研修
6月	研修旅行	
7月		虐待防止・メンタルヘルスチェック 法人全体研修
8月		消防設備点検
9月	新潟市障がい者大運動会	事業所内研修
10月	ハーモニー感謝祭	避難訓練 (地震対応) リスクマネジメント委員会
11月	健康診断 選択レクリエーション	法人全体研修
12月	法人事業所合同お楽しみ会 ハーモニーお楽しみ会	
1月		事業所内研修
2月	節分会	避難訓練 (水害対応) 消防設備点検 虐待防止・メンタルヘルスチェック 法人全体研修
3月		

福祉事業所いしやま

令和4年度事業計画

1 事業所概要

(1) 事業所名	福祉事業所いしやま
(2) 所在地 電話・FAX E-mail	〒950-0852 新潟市東区石山6丁目3-9 025-277-7060 Ishiyama3122@rainbow.plala.or.jp
(3) 施設規模 土地 建物	267.90 m ² 200.22 m ² 、木造瓦葺2階建
(4) 実施事業	就労継続支援B型
(5) 定員	20人
(6) 開設	平成19年4月(地域活動支援センター石山) 令和2年4月(福祉事業所いしやま)
(7) 職員数	常勤 4人、非常勤 1人

- ・(7)職員数は令和4年4月1日配置見込数

2 事業所の特色及び考え方

- (1) 住宅街の中で地域の方々と関わりあいながら、地域から求められるニーズに応えられるような事業展開を行います。
- (2) ご利用者の作業意欲の向上、能力を引き出す支援を行います。
- (3) 自主製品を通して、事業所のアピールとともに工賃向上を目指します。

3 令和4年度の重点項目

(1) ご利用者も職員も安心安全に働ける環境づくり

新型コロナウイルス感染予防や利用者増加に伴う作業室の狭さを解消するため、外物置を有効活用し作業室内の環境整備を行い、ご利用者も職員も安心安全に働ける環境づくりに努めます。

(2) 災害時に対応できる備蓄等の見直し

様々な想定の大災害にも対応できるよう、事業所にある備蓄品を見直し、毎月の備蓄品等のチェック体制を整えます。また、必要な際に他事業所とすぐに物品の提供等の協力ができる体制づくりに努めます。

4 年間計画

(1) 研修

- ①職員の多方面で総合的なスキルアップを図るため、多種多様な研修に

参加します。

- ②職員と危険箇所の確認と対応を検討する機会を設ける等、事業所内のリスクマネジメントを行い、限られたスペースを安心・安全に活用できるようにします。

(2) 施設・設備・車両

- ①各種定期点検を実施します。(消防設備点検 8 月、3 月)
- ②老朽化した外物置の買い替え等の環境整備を行います。
- ③より過ごしやすい環境作りを進めるため、勾配が急な中階段のリフォーム等を行います。
- ④車両の定期的なメンテナンスを継続するとともに、安全運転を心がけ、事故防止に努めます。

(3) 保健計画

- ①ご利用者
 - ・医療機関による健康診断を実施します。(10 月頃 希望者)
 - ・新型コロナウイルス感染対策と予防に努めます。消毒・衛生用品の在庫管理を定期的に行い、必要に応じて補充します。また、他事業所と連携して感染拡大防止に努めます。
- ②職員
 - ・年 1 回の定期健康診断を実施し、職員の健康管理に努めます。(随時)
 - ・インフルエンザ予防接種を実施します。(11 月頃)
 - ・新型コロナウイルス感染対策と予防に努めます。

(4) 安全

- ①ひやりはっと事例を職員で振り返り、共有し、事故を未然に防ぐよう努めます。
- ②各災害に対応したマニュアルの見直しを図ります。
- ③5 月に水害発生時の避難訓練、7 月に火災発生時の避難訓練、10 月に地震・火災発生時の避難訓練を実施します。
- ④災害時に必要な備蓄品(食料、水、衛生用品等)の在庫管理と必要な補充を行います。

(5) 保護者会、地域

- ①ご利用者保護者会役員と事業所は必要に応じて情報交換を行い、相互の連携を図ります。
- ②ご利用者保護者会に所長や職員が陪席させてもらうことで、保護者の意見を聞き、事業所運営に役立てます。

- ③「いしやままつり」の開催や「なかのやまいきいきひろば」に参加し、地域交流を進めます。
- ④「地域支え合い活動」(名称「輪っとくらぶ」)を通して、地域社会づくりへの参画、地域貢献を推進します。

(6) その他

- ①HACCP の考え方に基づいた衛生管理を継続し、安心・安全な食品づくりに取り組みます。

	行事・地域	事業所
4月	春の行楽	
5月		避難訓練(水害) 事業所内研修
6月	いしやままつり	
7月		避難訓練(火災)
8月		消防設備点検
9月	新潟市障がい者大運動会 一泊旅行	事業所内研修
10月		避難訓練(地震・火災) ご利用者健康診断
11月	日帰り旅行	職員インフルエンザ予防接種
12月	法人合同お楽しみ会	
1月		事業所内研修
2月	節分行事	
3月		消防設備点検

- 1) 毎週、茶話会を実施します。
- 2) 外食会、運動活動を年2回実施します。

輪っとくらぶ

令和4年度事業計画書

1 事業概要

(1) 名称	輪っとくらぶ (わっとくらぶ)
(2) 事業主体	福祉事業所いしやま
(3) 所在地	〒950-0852 新潟市東区石山6丁目3-9 「福祉事業所いしやま」内
電話・FAX	025-277-7060
E-mail	ishiyama3122@rainbow.plala.or.jp
(4) 事業	地域支え合い事業 (法人単独事業)
(5) 開設	平成23年12月
(6) 利用見込み	45 件
(7) 備考	平成23年度～平成25年度 新潟県地域支え合い体制づくり事業 (補助事業) 平成26年度以降 地域支え合い事業 (法人単独事業)

2 事業の特色及び考え方

- (1) 高齢の方や障がいのある方をはじめ、誰もが安心して暮らしていけるように、地域づくりの担い手としてご利用者が主体となって活動します。地域の皆さんの日常のちょっとした困りごとのお手伝いや相談に乗ったりすることで、地域との交流を深め、ご利用者及び福祉事業所いしやまを理解していただくとともに、事業所として地域づくりの一端を担う活動を展開します。
- (2) 依頼のあった作業に合わせ、訪問時にカーテンの開閉や新聞受けの様子等から、安否等の確認を含めた見守り支援も実施します。

3 令和4年度の重点項目

- (1) ご利用者が主体となって地域づくりの一端を担っていることを、ホームページに活動状況を掲載する等情報発信し、障がい者理解に努めていきます。
- (2) 除草、除雪、掃除などの生活支援を、1時間300円～800円で承ります。対象は、石山地区の高齢者の方や障がいのある方の世帯、各自治会でず (活動圏域外の依頼は要検討)。

4 年間計画

- (1) 春から秋にかけては除草作業や水やり作業、冬場は除雪作業を中心に活動を実施します。また、必要に応じて見守り支援を行う等、安心して暮らしていける地域づくりに貢献します。
- (2) 行政、関係機関、自治会などと連携して、効果的な事業運営に努めます。
- (3) ご利用者のペースに合わせて作業受託することで、ご利用者の体調管理や安全管理に配慮します。

5 その他

- (1) 行政機関、区社協、コミュニティ協議会、自治会、児童民生委員、地域包括支援センター、高齢者施設等が開催する会議に参加させていただき周知、広報活動に努めます。
- (2) 活動を通して他機関の支援が必要と思われるケースがある場合は、関係機関と連携し支援に繋がっていきます
- (3) 本事業は「地域支え合い体制づくり事業」として、他の事業と区別します。また、運営を福祉事業所いしやまへ委託し、請け負った依頼の収入は、就労支援事業として計上、ご利用者の工賃として支払います。

ポルカ

令和4年度事業計画

1 事業所概要

(1)名称	ポルカ			
(2)実施事業	共同生活援助、短期入所（ポップ）			
(3)統括事務所 所在地・連絡先	〒951-8141 新潟市中央区関新一丁目2番34号 電話・FAX 025-201-6658			
(4)ホーム名	ポルカ	ロンド	ワルツ	ポップ
(5)所在地	西区寺尾西4丁目8番地28	西区寺尾上1丁目2番地11	西区寺尾台2丁目7番地5	西区寺尾上1丁目2番地10
(6)電話・FAX	025-269-8155	025-269-5566	025-231-9922	025-269-6655
(7)開設	平成21年4月	平成23年6月	平成28年4月	令和4年2月
(8)定員	4人	4人	4人	4人 (短期入所2人)
(9)建物	105.19㎡ 木造2階建て4LDK	106.81㎡ 木造2階建て5LDK	117.28㎡ 木造2階建て5LDK	161.84㎡ 木造2階建て8LDK
(10)職員数	常勤3名、非常勤10名（うち世話人9名）			
(11)連携施設	福祉事業所つばさ			

2 事業所の特色及び考え方

- (1) ご利用者の皆様が「じぶんのいえ」と感じていただけるよう、アットホームな雰囲気をお大切にしたサービスを提供します。また、地域に根付いたホームとして、近隣住民や関係者とのふれあいを大切にします。
- (2) ご利用者の意向と個性を尊重し、個々の適性や障がいの特性を踏まえた支援計画を作成します。ご家庭や関係機関との連携に努め、ご利用者が安心して過ごせる環境づくりを進めます。

3 令和4年度の重点項目

- (1) 新規グループホーム（ポップ）の入所希望のご利用者が、少しずつ生活に慣れ、安心して過ごせる空間を提供できるよう、関係する職員が連携をとりながら支援を提供します。
- (2) ポップを含む4棟が、揃って円滑に運営できるよう人の配置、情報の共有、支援の提供、職員間の連携に努めます。
- (3) 世話人会議の目的を見直します。職員間の情報共有の場として大切な時間であるとともに、学びの場でもあるため、会議の時間を有意義なものに

なるよう再考します。

4 年間計画

(1) 研修

- ① 障がい特性に応じた考えのもとで、支援を提供することや対応について学ぶ機会を設けます。法人研修および必要に応じて行う世話人の研修を通して、支援のスキルアップを図ります。

(2) 施設・設備・車両

- ① 修繕が生じたら、速やかに対応します。

(3) 保健計画（健康、食事等）

- ① ご利用者の希望を取り入れた、おいしく楽しめる食事を提供します。
- ② ホーム帰宅後、日々のご利用者の衛生面や健康面に留意します。手洗い消毒の励行、定期的な検温を行います。

(4) 安全

- ① 災害、防犯等様々な場面に合わせた避難計画等を作成し、防災訓練や避難訓練を実施します。また、保護者や日中活動事業所との連携を強化し、緊急時にご利用者の連絡や引継ぎが確実にできるよう確認します。

(5) 地域

- ① 近隣住民の皆様と良好で円滑な関係がとれるよう、地域の方とお会いしたときの挨拶や、ごみステーションの清掃等地域の役に立つ活動を大切に行います。

カノン

令和4年度事業計画

1 事業所概要

(1)名称	カノン
(2)実施事業	共同生活援助事業
(3)統括事務所 所在地・連絡先	〒951-8141 新潟市中央区関新一丁目2番34号 電話・FAX 025-201-6658
(4)ホーム名	カノン
(5)所在地	東区新岡山2丁目1番地21
(6)電話・FAX	025-277-7008
(7)開設	平成29年8月
(8)定員	4人
(9)建物	112.87㎡ 軽量鉄骨2階建て5LDK
(10)職員数	常勤1名、非常勤5名（うち世話人5名）
(11)連携施設	福祉事業所ハーモニー

2 事業所の特色及び考え方

- (1) ご利用者の皆様が「じぶんのいえ」と感じていただけるよう、アットホームな雰囲気を大切にサービスを提供します。また、地域に根付いたホームとして、近隣住民や関係者とのふれあいを大切にします。
- (2) ご利用者の意向と個性を尊重し、個々の適性や障がい特性を踏まえた支援計画を作成します。ご家庭や関係機関との連携に努め、ご利用者が安心して過ごせる環境づくりを進めます。

3 令和4年度の重点項目

- (1) 祝祭日の日中支援において、お出かけやお楽しみとなる余暇を取り入れるなど、日中生活の充実を図ります。お出かけの様子を写真に撮ってボードに飾るなど、日々の思い出を身近に感じてもらえるよう支援します。
- (2) ご利用者が充実した生活を送ることができるよう、個々の課題を整理し、ご利用者が主体的に取り組みやすい支援計画を作成します。ご利用者がご自身でできることが少しずつ増えていくよう、職員が支援していきます。

4 年間計画

(1) 研修

- ① 世話人会議を月 1 回開催し、ご利用者の状況や支援の内容及び方法について情報共有し、支援の改善や充実に努めます。
- ② 歯磨き支援に関する研修会に職員を派遣し、スキルアップを図ります。

(2) 施設・設備・車両

- ① 増築した箇所である、世話人部屋とサンルームの修繕工事を行います。

(3) 保健計画（健康、食事等）

- ① ご利用者の希望を反映した、おいしく楽しめる食事を提供します。
- ② ご利用者の年齢や体の状態に合わせて、食べやすい料理や調理方法、食材の形状を工夫します。
- ③ 新型コロナウイルス感染対策と予防に努めます。

(4) 安全

- ① 自然災害、火災、防犯等、さまざまな場面に合わせた防災計画等を作成し、防災訓練や避難訓練を実施します。また、事前に全体でマニュアルを確認する等、世話人が適切に誘導できるよう準備を進めます。
- ② 避難場所の確認や保護者及び日中活動の事業所との連絡や、ご利用者の引継ぎについて確認をします。また、緊急連絡網を整備し、情報伝達訓練を実施します。
- ③ グループホームに常備してある人数分の非常持ち出し袋を、定期的に点検します。不足や交換が必要な場合は、速やかに補充します。

(5) 保護者会、地域

- ① ゴミステーションや側溝の清掃など、地域住民としての役割を果たし、自治会主催の行事に積極的に参加することで、地域との共生を目指し、かつご利用者の社会性を身につける一助とします。

(6) その他

- ①ご利用者の関心や興味を引き出しつつ、季節に応じた行事としてクリスマス会、誕生会等を実施します。

相談支援センターくろっとり

令和4年度事業計画

1 事業所概要

(1) 事業所名	相談支援センターくろっとり
(2) 所在地 電話・FAX E-mail	〒950-1123 新潟市西区黒鳥 984 025-370-1234 blackbird_984@ybb.ne.jp
(3) 施設規模 土地 建物	30.00 m ² (あすなろ福祉園内 1 階に設置)
(4) 実施事業	特定相談支援事業
(5) 契約者数	1 4 4 名
(6) 開設	平成 2 6 年 4 月
(7) 職員数	常勤 2 人、非常勤 1 人

- ・ (7)職員数は令和4年4月1日配置見込数

2 事業所の特色及び考え方

- (1) 法人の基本理念である人間尊重・自立支援・幸福追求を目指す考えに基づき、ご利用者の想いや願い、抱える課題を真摯に受け止め、ご利用者に寄り添ったサービス等利用計画を作成します。
- (2) ご利用者がライフステージのあらゆる段階において、障がいの程度にかかわらず、自立した生活を目指し社会活動へ積極的に参加できるように支援します。
- (3) ご利用者が一人の生活者として、自らの生活を自らの意思で選択・決定していけるよう、可能な限りご本人の意思を尊重し、自己決定ができるように支援します。
- (4) 物質的に豊かな生活を目指すだけでなく、ご利用者の人格と個性を尊重し、人間らしく生きていく内面的な充実感を豊かにすることを含めて、ご利用者のよりよい生活を重要視した支援をします。

3 令和4年度の重点項目

- (1) ご利用者の高齢化に合わせた対応を行います。
 - ・ 本人・家族の高齢化に伴い、複合的かつ多岐にわたっていく課題に向き合い、支援を行います。

- ・ 65歳を迎えるご利用者に対して、一律に介護保険へ移行するのではなく、ご利用者の意向や状況をよく踏まえたうえで、必要に応じ丁寧な高齢者サービスへの引継ぎ・移行を行います。
- (2) **ご利用者の多様化する相談業務に柔軟に対応できる体制を整えます。**
 - ・ 様々なニーズがあるご利用者に、質の高い福祉サービスが提供出来るよう相談支援専門員のスキルアップに努め、満足していただけるような計画相談業務を行います。
- (3) **福祉関連の機関等と緊密な連携を図り、適切な福祉サービスが受けられるよう取り組みます。**
 - ・ 他の相談支援事業所や新潟市内 4 か所の基幹相談事業所と連携を行います。
 - ・ 福祉サービス事業所や地域生活支援事業所と連携を行います。
- (4) **新型コロナウイルス感染防止に努めます。**

4 年間計画

(1) 研修

- ①新潟県・新潟市社会福祉協議会等が主催する研修に参加します。
- ②新潟市障がい福祉課等の行政機関が主催する相談支援事業所向け研修会に参加します。
- ③新潟市西区自立支援協議会主催による西区相談支援事業所会議に参加します。
- ④その他の研修会等に参加します。
 - ・ 相談支援に関連する有益な研修に参加します。

(2) 施設・設備・車両

- ①車両 1 台の定期車検を行う。

(3) 保健計画

- ①定期健康診断を実施し、健康管理に努めます。
- ②インフルエンザ予防接種を実施します。
- ③新型コロナウイルスワクチン接種を実施します。

(4) 安全

- ①職場内の安全点検を実施し、必要に応じて改善措置を行います。
- ②日々の交通安全及び事故防止に向けた注意喚起や啓発に努めます。
- ③年 2 回あすなろ福祉園と合同による避難訓練をします